

脱炭素先行地域 中間評価報告票

提案者名	上土幌町
共同提案者名	
選定回	第1回
重点選定モデル①	
重点選定モデル②	

【先進性・モデル性の類型】

地域課題解決	防災・レジリエンス強化、畜産酪農振興、資源循環
地域脱炭素の基盤創出	地域エネルギー会社との連携、地域金融機関との連携、住民等の行動変容（地域通貨・スポーツ等との連携）
需要家・エリア設定	全域
創出する再エネの種類・導入技術等	高度なエネマネ（VPP、DR、MG、大型蓄電池等）

交付金の交付を受けて交付対象事業が開始された年月	2022/5/11
--------------------------	-----------

1. 基礎情報（計画の変更箇所）
<p>【令和4年度進捗状況報告票】より ・該当なし。</p> <p>【令和5年度進捗状況報告票】より ・該当なし。</p>

<選定当初の計画値との比較>

種類	(E) 現在の 計画値	(F) 選定当初の 計画値	(E)-(F) 現在と 選定当初の 計画値の 比較
民生部門の電力需要量 (kWh/年)	18,898,077	18,898,077	0.0%
再エネ等の電力供給量 (kWh/年)	18,087,080	18,087,080	0.0%
省エネ等による電力削減量 (kWh/年)	1,041,382	1,041,382	0.0%
自家消費等の割合 (%)			0.0%
「再エネ等の供給量の合計」のうち先行地域のある 地方公共団体内で発電する再エネ電力量の割合 (%)	100.0%	100.0%	0.0%

2-1.中間評価実施時点までの「実質ゼロ」の達成率

$$\left(\frac{15.5}{2,932,377} (\%) + \frac{0.00709067}{1,340} (\%) \right) \div \frac{18,898,077}{18,898,077} (\text{kWh/年}) = 16 (\%)$$

種類	民生部門の電力需要家	数量	電力需要量 (kWh/年)	再エネ等の供給量(kWh/年)				合計	省エネ等による電力削減量 (kWh/年)	CO2 排出削減量 (t-CO2)	備考
				内訳							
				自家消費等	相对契約	再エネメニュー	証書				
民生・家庭	戸建住宅	1,644	5,507,400	662,610	1,037,654	0	0	1,700,264	1,340	9,228	○戸建住宅：1,644戸 再エネ：②、③、⑤、⑥ 省エネ：⑧、⑫
	その他	861	2,383,662	386,395		0	0	386,395	0	4,804	○事務所等併用住宅、民間集合住宅、公営住宅 再エネ：②、③、⑦ 省エネ：⑧、⑩、⑫
民生・業務その他	オフィスビル							0			
	商業施設							0			
	宿泊施設							0			
	その他	184	7,857,537	0	233,922	0	0	233,922	0	0	○事務所（民間診療所、一般小売事業者、個人事業主等） 再エネ：⑦ 省エネ：
公共	公共施設	128	3,149,478	0	611,796	0	0	611,796	0	0	○街路灯を除く公共施設 再エネ： 省エネ：⑪
	その他							0			
合計			18,898,077	1,049,005	1,883,372	0	0	2,932,377	1,340	14,032	

2-2.中間評価実施時点における新規再エネ導入量

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	累計
22	1,060	948							2,030

※対象年度中に導入完了した、先行地域事業による新規再エネ設備について記載してください（交付金充当の有無は問いません。）。

3.電力需要家との合意形成の状況

■住宅

No	施設名	対象施設数	合意形成進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	○戸建住宅 ○事務所等併用住宅 ○民間集合住宅 ○公営住宅	2505	A	令和4年度に取組の説明会等を行い、合意形成済である。

■業務その他

No	施設名	対象施設数	合意形成進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	○事業所（民間診療所、一般小売事業者、個人事業主等）	184	A	令和4年度に取組の説明会等を行い、合意形成済である。

■公共

No	施設名	対象施設数	合意形成進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	○街路灯を除く公共施設	128	A	令和4年度に取組の説明会等を行い、合意形成済である。

4-1.民生部門の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロの実現に向けた進捗状況

【再エネに係るもの】

■取組①：改正地球温暖化対策推進法に基づく上士幌町実行計画策定事業

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程									
	目標値 (単位:-)	単年度	策定済							
		累計	策定済							
状況	工程									
	実績 (単位:-)	単年度	策定済							
		累計	策定済							

取組概況	
------	--

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組②：再生可能エネルギーの地産地消推進事業

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程										
	目標値 (単位:件)	単年度	100	200	200	200	200	200	200	200	204
		累計	396	596	796	996	1196	1396	1596	1796	2000
状況	工程										
	実績 (単位:件)	単年度	16	2	20						
		累計	312	314	334	334	334	334	334	334	334

取組概況	<p>町内のバイオガスプラントで発電された電気を特定卸供給により「かみしほろ電力」が域内に供給している。より一層の地産地消を図っていくため、供給件数拡大に向けた取組を進める。令和5年度は差引（新規と途中解約）2件増となった。</p> <p>一般住宅向け太陽光発電等再エネ設備導入支援事業に連動して、再エネ地産地消促進奨励事業（町単独事業）により、太陽光発電の一般住宅でかみしほろ電力を契約した家庭に10万円の地域商品券（町内のみ利用）を交付している。まだ件数は少ないが、令和5年度は本奨励事業により8件の契約に結びついている。</p> <p>「かみしほろ電力」の契約拡大キャンペーンとして、令和6年3月1日～4月30日の間の新規契約者には2カ月基本料金無料を実施している。令和6年度第2弾キャンペーンは7月～8月で実施し契約件数増に結びついている。</p>
------	--

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組③：町有地等を活用した大規模太陽光発電設備導入事業

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程									
	目標値 (単位:kW)	単年度	0	0	0	2000				
		累計	0	0	0	2000				
状況	工程									
	実績 (単位:kW)	単年度	0	0	0					
		累計	0	0	0	0				

取組概況	<p>町有地を活用し、北海道ガス(株)と協働で2,000kW規模の太陽光発電設備を整備する候補地の検討を進めてきた。令和5年12月6日に町民説明会を開催し、太陽光発電整備については、理解を得つつも、整備候補地については、慎重な意見が出されたが、太陽光発電の導入についてはおおむね了承を得た。</p> <p>令和6年度設置工事に向け、太陽光発電設備設置者への補助事業予算については、令和6年度当初予算にて計上済み。</p> <p>令和6年度9月に当該町有地の賃貸借契約を締結済みであり、10月から着工予定となっている。なお、当初は4月早々に着工する予定であったが、系統連系工事負担金及び工事方法など、送配電事業者と北海道ガス（町同席）との協議が長引いたため10月着工予定となった。</p>
------	---

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組④：太陽光発電を活用した公共施設マイクログリッド構築事業

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程									
	目標値 (単位:kW)	単年度	0	0	0	0	0	500		
	累計	0	0	0	0	0	500			
状況	工程									
	実績 (単位:kW)	単年度	0	0	0					
	累計	0	0	0	0	0	0			

取組概況	<p>令和5年度は、太陽光発電を活用した公共施設マイクログリッド構築事業の基本設計を行っている。 令和6年度以降に詳細設計・施工を行う予定である。 令和6年8月22日プロポーザル公募開始 マイクログリッド対象施設である役場庁舎改修との連携が必要なことから、詳細設計が令和6年12月～令和7年2月となる予定。※詳細は町HPプロポーザル (https://www.kamishihoro.jp/page/00000440) のとおり</p>
------	---

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組⑤：一般住宅向け太陽光発電等再エネ設備導入支援事業

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程									
	目標値 (単位:kW)	単年度	300	300	300	300	300	300	300	300
	累計	300	600	900	1200	1500	1800	2100	2400	2700
状況	工程									
	実績 (単位:kW)	単年度	14.6	428.4	138.85					
	累計	14.6	443	581.85	581.85	581.85	581.85	581.85	581.85	581.85

取組概況	<p>令和5年6月19日から事業を開始したが、希望者が当初予定を大きく上回ったため、受付開始4日目の22日で受付中止となった。北海道地方環境事務所と予算面の調整等により追加内示を受けながら、一般住宅77件（うち太陽光発電設備65件、蓄電池75件、V2H 4件）に対して補助金の間接交付を行った。 令和5年度から太陽光発電等再エネ設備導入支援事業と連動した貸付制度（無利子）を地元金融機関の協力のもと導入したところ、12件の申請があった。 令和6年9月末申請件数35件</p>
------	---

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組⑥：一般住宅向け太陽光発電の卒FIT電力買取事業

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程									
	目標値 (単位:kWh)	単年度	75,920	75,920	75,920	75,920	75,920	75,920	75,920	75,920
	累計	75,920	151,840	227,760	303,680	379,600	455,520	531,440	607,360	683,280
状況	工程									
	実績 (単位:kWh)	単年度	3,567	6,841	20,171					
	累計	3,567	10,408	30,579	10,408	10,408	10,408	10,408	10,408	10,408

取組概況	<p>平成21年度開始の住宅用太陽光発電設備補助により導入した設備について、10年を経過した設備はFIT売電が順次終了しており、通常自家消費や市場に売電される運用となっている。売電先の電気を㈱karch「かみしほろ電力」の供給元である北海道ガス㈱が買い取る仕組みにすることにより、地域内で生まれた電力として活用される。</p>
------	---

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組⑦：事業者向け太陽光発電等再エネ設備導入支援事業

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程									
	目標値 (単位:kW)	500	500	500	500	500	500	500	500	500
	単年度 累計	500	1000	1500	2000	2500	3000	3500	4000	4500
状況	工程									
	実績 (単位:kW)	7.6	631.4	809						
	単年度 累計	7.6	639	1448	1448	1448	1448	1448	1448	1448

取組概況	<p>令和5年6月19日から事業を開始したが、希望者が当初予定を大きく上回ったため、受付開始4日目の22日で受付中止となった。北海道地方環境事務所と予算面の調整等により追加内示を受けながら、民生部門に関わる事業者18件（うち太陽光発電設備18件、蓄電池16件、V2H 2件）に対して補助金の間接交付を行った。</p> <p>※総事業者28件（うち太陽光発電設備28件、蓄電池22件、V2H 3件）</p> <p>令和6年9月末申請件数15件</p>
------	--

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

【省エネに係るもの】

■取組⑧：ZEH型住宅建設促進補助事業

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程									
	目標値 (単位:戸)	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	単年度 累計	20	40	60	80	100	120	140	160	180
状況	工程									
	実績 (単位:戸)	0	1	1						
	単年度 累計	0	1	2	2	2	2	2	2	2
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)									

取組概況	<p>【目標】単年度 戸建10戸 集合10戸/目標値 戸建90戸 集合90戸</p> <p>当初、ZEH型住宅建設補助事業を令和4年度実施から実施する予定であったが、制度設計に時間を要したため、令和5年度からの補助制度開始となった。</p> <p>令和5年度より「上士幌型脱炭素住宅建設助成事業」（戸建）、「定住促進賃貸住宅建設助成事業」（上士幌型脱炭素住宅認定基準に適合する戸建・集合住宅）の募集を開始している。</p>
------	---

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組⑨：役場庁舎等大規模改修事業

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程									
	目標値 (単位:-)	計画策定	計画策定	業者選定	設計	工事開始	工事完了			
	単年度 累計									
状況	工程									
	実績 (単位:-)	計画策定済	計画策定済	業者選定中						
	単年度 累計									
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)									

取組概況	<p>令和4年度に策定した上士幌町役場庁舎等改修基本計画を基に、令和5年度は配置計画、建築計画、構造計画、設備計画、環境配慮計画、防災計画等を定めた基本設計案の策定を行った。計画の中で、ZEB化実現を目指した省エネルギー化を図るための具体的な手法を定め、地下水熱利用及び木質バイオマスボイラー設備の導入について計画した。令和6年度は、設計施工一括発注にむけた業者選定を行う。</p> <p>令和6年10月7日プロポーザル公募開始予定。</p>
------	---

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組⑩：ZEH型公営住宅建設事業

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:戸)	単年度	0	5	4	5	2		6	4	
		累計	0	5	9	14	16	16	22	26	
状況	工程										
	実績 (単位:戸)	単年度	0	0	0						
		累計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計									

取組概況	<p>令和4年度にZEH型公営住宅建設を検討し、令和5年度に設計を行ったが、公営住宅全体の空き戸数が増加している状況から令和6年度の建設は見合わせる予定。</p> <p>北海道の再生可能エネルギーなどを活用した「道営住宅の新たな配置事業」建設候補地に本町が選定されたため、令和6年度以降の建設に向けて、北海道と協議中である。</p>
------	--

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組⑪：公共施設省エネルギー化促進事業

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:施設)	単年度	0	0	0	0	0	11			
		累計	0	0	0	0	0	11			
状況	工程										
	実績 (単位:施設)	単年度	0	0	0						
		累計	0	0	0	0	0	0			
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計									

取組概況	<p>令和5年度は、太陽光発電設備設置可能調査及び省エネ調査を実施した。 (太陽光発電設備調査 11施設/省エネ調査 12施設)</p> <p>令和6年度から順次設計を行い、設置工事を進める予定である。</p> <p>令和6年度に上士幌中学校、シェアオフィスの太陽光設置に係る設計を実施している。</p>
------	--

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組⑫：地域住民及び全国自治体への普及啓発展開事業

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:人)	単年度	200	100	40	30	30	25	25	25	25
		累計	200	300	340	370	400	425	450	475	500
状況	工程										
	実績 (単位:人)	単年度	231	107	0						
		累計	231	338	338	338	338	338	338	338	338
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計									

取組概況	<p>脱炭素に向けた取組は、自治体の取組だけでなくそこに居住する住民一人一人の行動が重要で、住民自らが「自分ごと」として捉え実際に行動に移していただくことが必須であり、住民の「意識醸成・行動変容・自発的行動」のきっかけづくりについて、本町では積極的に取り組んでいる。さらに、単一市町村の取組では到底達成は望めないことから、人口増加に結びついた本町の地方創生における取組を基盤として、いち早く地域の脱炭素化を図り、その成果や課題、解決策を他自治体にも広めていくことで、国内の脱炭素化を積極的に推し進め、全国における脱炭素ドミノ化につなげる。</p> <p>【SDGsポイント制度：令和6年4月1日開始】</p> <p>住民の再エネ利用や省エネ意識を醸成するため、環境に配慮した行動に応じてSDGsポイント（地域通貨）を付与する仕組みを構築し、取組を見える化することで、自発的な電力及び温室効果ガスの削減につなげる。加えて、住民が楽しみながら行動を変容する環境づくりを進め、徒歩や公共交通機関利用による健康の増進、ポイントを利用した商店街での買い物の促進など、地域経済の活性化にも寄与しながら、住民生活の質の向上を図る。令和5年度は、システムのプラットフォーム選定や運用方法、ポイント進呈項目の設定など、SDGsポイントの運用開始に向け各関係者間での具体的な調整を進めた。</p> <p>【SDGs・ゼロカーボンマスター制度：令和6年4～5月開始予定】</p> <p>SDGsやゼロカーボンにおいて、すでにある程度の知識・経験を持つ方や、SDGsポイントによる知識や経験を蓄積いただいた住民に対して「マスター」の称号を授与し、町内の普及啓発活動を率先して行っていただくことで、マスターの増加による普及速度のアップ、活動を通じた町民同士の交流機会創出（コミュニティ）を目指す。令和5年度は、町内の若手メンバーで構成した「ゼロカーボン推進プロジェクトチーム」にて、マスター取得後に必須とする具体的な行動やインセンティブ、マスターを証するもの（バッジなど）の検討を進めた。さらに、全国の同様取組における先進自治体への視察等を行いつつ、本町の特性などに応じたマスター制度の概要やルール作りを進めた。</p> <p>【全国への普及啓発展開】</p> <p>全国自治体への普及啓発については、令和5年度の本町の視察・講演等参加の国内自治体は107件で、令和4～5年度の累計は338件となり、単年度・累計ともに目標を達成している。積極的に視察の受入や講演依頼を受諾し、北海道内だけではなく道外へも積極的に普及啓発を進めてきた。また、本町の先進的な取組を広く伝えることにより、様々な事業における関係人口の増加や企業版ふるさと納税による寄付など、ヒト・モノ・カネや情報などを着実に本町に呼び込み、地域雇用・資本の充実につながっている。</p>
------	--

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3～5行程度で記載してください。

4-2.民生部門電力以外の温室効果ガス排出削減等の進捗状況

■取組⑬：高齢者等福祉バス運行事業

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:t-CO2)	単年度	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6
		累計	4.6	9.2	13.8	18.4	23	27.6	32.2	36.8	41.4
状況	工程										
	実績 (単位:t-CO2)	単年度	19	19	19						
		累計	19	38	57	57	57	57	57	57	57
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計									

取組概況	<p>目標値(単位:CO2削減t-CO2)</p> <p>農村部をデマンド運行し、年間走行距離の削減し、利用率を向上させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時路線で運行した場合(居辺・北門・上音更・萩ヶ岡) 年間走行距離 94,536.0km ・デマンド運行実績(居辺・北門・上音更・萩ヶ岡) 年間走行距離 8,353.8km 延べ利用人数585人
------	--

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3～5行程度で記載してください。

■取組⑭：上士幌ヒト・モノ・MaaS推進事業

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:t-)	単年度	0	0	0	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9
		累計	0	0	0	2.9	5.8	8.7	11.6	14.5	17.4
状況	工程										
	実績 (単位:t-)	単年度	0	0	0						
		累計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計									

取組概況	<p>目標値(単位:CO2削減t-CO2)</p> <p>上音更地区を対象として、ドローンによる新聞配送をR5.9月より実施。ドローンによる定期配送が実現している。また、R5.12月には、ドローン飛行レベル3.5が解禁となり、ドローン配送の実用化に向けて大きく進んでいる。</p>
------	--

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。
 ※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組⑮：公用車・公用電動自転車の一体的整備事業

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程											
	目標値 (単位:台 (EV))	単年度	0	0	0	0	15					
		累計	0	0	0	0	15					
状況	工程											
	実績 (単位:台 (EV))	単年度	3	3	0							
		累計	3	6	6	6	6					
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計	0.06	0.06								

取組概況	<p>【目標値】</p> <p>公用車EV、PHEV更新（12台）、公用電動自転車導入（3台）、急速充電設備（3か所）</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は公用EV車が2台、企業からの寄付により1台の導入し、合計7,635kmの走行があった。 昨年度導入した電動自転車は、合計278kmの走行があり、CO2削減量として0.06t-CO2/年であった。 <p>【実績：導入台数】電気自転車3台、EV車3台</p>
------	--

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。
 ※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組⑯：未利用エネルギー資源の活用検討事業

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:-)	単年度	検討	検討	検討						
		累計									
状況	工程										
	実績 (単位:-)	単年度	検討	検討	検討						
		累計									
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計									

取組概況	<p>【ぬかびら源泉郷地区住民】</p> <p>令和4年度に引き続き、令和5年度は外部より講師を招聘して地区住民を対象とした第2回勉強会を開催。温泉からの排湯や浄水場の水力を活用した小規模水力発電を中心に、地区全体での未利用エネルギーの有効活用について検討した。小規模水力発電は、地区内の高低差や湯水量が不足し、現時点では難しい判断ではあるものの、令和6年度以降、陸上養殖などその他の未利用エネルギーの活用可能性について、希望の事業者等を中心に個別調整を行う。</p> <p>【公共施設への木質バイオマスボイラー】</p> <p>令和5年度役場庁舎大規模改修（ZEB）の基本設計において、木質バイオマスボイラー導入を決定し、余剰熱は近くの温浴施設で活用する計画とした。</p> <p>【その他】</p> <p>令和10年度に町内のごみ処理場が閉鎖され、約40km離れた帯広市の中間ごみ処理施設に集積されることに伴い、運搬コストや処理に係る分担金削減も含めたごみの減量化を目指している。令和5年度は、特に水分が8割を占める家庭生ごみの適正処理として町民へのコンポスターや生ごみ処理機の導入補助、町内の小学4年生においてコンポスターによる給食残渣物のたい肥化と野菜栽培など、ごみ・残渣物そのものの削減における町民の意識啓発を進めてきた。令和6年度以降は引き続き、食品残渣を活用した小型バイオガスプラントなど導入可能性の調査を進めていく。</p>
------	--

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組⑰：中央公園再エネ・緑化整備事業

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:-)	単年度	検討	検討	検討						
		累計									
状況	工程										
	実績 (単位:-)	単年度	検討	基本設計	検討						
		累計									
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計									

取組概況	<p>役場庁舎と一体的な整備が必要となる中央公園について、園路の照明などに使用する電力の省エネルギー化や植樹等による緑化促進、化石燃料からなるアスファルト施工削減と自然由来素材の導入を積極的に行い、環境に配慮した町民の憩いの場となる公園づくりを進める。</p> <p>令和5年度は上士幌町役場庁舎等基本設計と併せて中央公園の基本設計を行った。</p>
------	---

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組⑱：農地土壌炭素吸収源対策事業

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:t-CO2)	単年度	1133	1133	1133	1133	1133				
		累計	1133	2266	3399	4532	5665				
状況	工程										
	実績 (単位:t-CO2)	単年度	358	548	0						
		累計	358	906	906	906	906				
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計									

取組概況	令和5年度緑肥面積 193.57ha 参加農家19戸
------	-------------------------------

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。
※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組⑲：森林保全による温室効果ガス吸収源確保対策事業

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:-)	単年度	事業実施	事業実施	事業実施						
		累計									
状況	工程										
	実績 (単位:-)	単年度	事業実施	事業実施	事業実施						
		累計									
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計									

取組概況	温室効果ガス吸収源の維持・確保に向け、2002（平成14）年から実施している樹木の適期更新・間伐などの森林保全活動を継続展開した。 (令和5年度実施内容) ・町有林整備事業（植栽、下刈、皆伐、地拵） ・上土幌町民有林造林促進事業（植栽）
------	---

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。
※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組⑳：上土幌町有林間伐促進プロジェクト事業

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:-)	単年度	事業実施	事業実施	事業実施						
		累計									
状況	工程										
	実績 (単位:-)	単年度	事業実施	事業実施	事業実施						
		累計									
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計									

取組概況	令和5年度オフセット・クレジット(J-VER) 58t-CO2販売 ・認証クレジット発行量 2,209t-CO2のうち499 t-CO2販売済み ・残りクレジット発行量 1,710 t-CO2
------	--

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。
※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組②：PETボトルの再利用による高耐久舗装事業

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:-)	単年度 累計	検討	検討	検討						
状況	工程										
	実績 (単位:-)	単年度 累計	検討	検討	検討						
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計									

取組概況	<p>耐久性舗装規格は、砂利の厚さ、アスファルトの3層化などコスト増となる。また大型車両の交通量が多い道路であれば交付金対象となるが、本町では該当しないため財源の面の検討が必要となる。</p> <p>今後は、PETボトルの再利用による高耐久舗装以外の材料・施工方法についても検討していく。</p>
------	--

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組②：地域再生可能エネルギーのふるさと納税返礼品事業（地域再生エネルギーのふるさと納税返礼品事業）

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:-)	単年度 累計	検討	検討							
状況	工程										
	実績 (単位:-)	単年度 累計	検討	検討							
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計									

取組概況	ふるさと納税返礼品の取扱調査中
------	-----------------

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組③：温室効果ガス削減に向けた調査事業

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:-)	単年度 累計	検討	検討							
状況	工程										
	実績 (単位:-)	単年度 累計	検討	検討							
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計									

取組概況	<p>ゼロカーボンパークについては、大雪山国立は複数町村にまたがっているため、関係町村と今後のカーボンニュートラルに向けた具体の取組について協議・検討している。</p> <p>牛のげっ抑制の対策については、飼料添加物が必要となるが、まだ研究段階であり、費用が高額などの理由により普及していない状況である。また、現在、牛乳の生産抑制や資料高騰という厳しい状況下では農業者への負担となり、導入は難しい。今後も研究動向等を把握し、検討を進めたい。</p>
------	--

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

5-1.共通KPIの進捗状況

■指標：脱炭素先行地域における域外へのエネルギー代金流出抑制額

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	65,915,881	70,568,175	92,271,211	92,271,183	92,271,183	111,095,695	3,374,311	3,374,311	3,374,479
	累計	65,915,881	136,484,056	228,755,267	321,026,450	413,297,633	524,393,328	527,767,639	531,141,950	534,516,429
実績	単年度	65,915,881	82,370,469							
	累計	65,915,881	136,484,056							

5-2.個別KPIの進捗状況

■指標①：民生部門における地域再生可能エネルギー供給件数（件）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	100	200	200	200	200	200	200	200	204
	累計	396	596	796	996	1196	1396	1596	1796	2000
実績	単年度	16	2	20						
	累計	312	314	334	334	334	334	334	334	334

実績詳細	<p>町内のバイオガスプラントで発電された電気を特定卸供給により「かみしほろ電力」が域内に供給している。より一層の地産地消を図っていくため、供給件数拡大に向けた取組を進める。令和5年度は2件増となった。</p> <p>2024年3～4月に新規契約を対象に2カ月間無料とする「春の新生活応援キャンペーン」を行い、新規加入の促進を行っている。また取組③のメガソーラーを整備することにより、電気料金を大手電力会社の従量分料金と比べ5%安くする計画である。</p>
------	--

■指標②：人口の社会増（人）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	0	0	0	0	0	0	0	143
	累計	0	0	0	0	0	0	0	0	143
実績	単年度	-69	23	0						
	累計	-69	-46	-46	-46	-46	-46	-46	-46	-46

実績詳細	<p>令和4年度に平成26年度以来の8年ぶりに社会減になったが、令和5年度には23名の社会増となっている。</p>
------	---

■指標③：シェアオフィス及び企業滞在型交流施設の契約企業数（件）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	3	3	3	3	3	3	3	3	2
	累計	17	20	23	26	29	32	35	38	40
実績	単年度	3	2	0						
	累計	17	19	19	19	19	19	19	19	19

実績詳細	<p>テレワーク・ワーケーションの推進に向けて企業への助成金制度創設し、カンファレンスイベントを実施することで、シェアオフィス利用促進を図った。令和5年度の契約企業数19社となった。</p>
------	---

■指標④：マイクログリッドで電力確保可能な防災拠点施設数（施設）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	0	5	0	0	0	0	0	0
	累計	0	0	5	5	5	5	5	5	5
実績	単年度	0	0	0						
	累計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

実績詳細	<p>令和5年度は、太陽光発電を活用した公共施設マイクログリッド構築事業の基本設計を行っている。</p> <p>令和6年度以降に詳細設計・施工を行う予定である。</p>
------	--

■指標⑤：再生可能エネルギー発電設備及び省エネルギー住宅の導入件数（一般住宅）（件）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	30	31	31	31	31	31	31	31	30
	累計	123	154	185	216	247	278	309	340	370
実績	単年度	15	77	35						
	累計	15	92	127	127	127	127	127	127	127

実績詳細	<p>一般家庭における再生可能エネルギー有効活用のため、太陽光発電設備等を導入する一般家庭へ補助金による支援を行う。対象設備は、太陽光発電設備（補助率2/3）、蓄電池（補助率3/4）、V2H（補助率3/4）で、補助上限額は300万円としている。</p> <p>令和5年6月19日から事業を開始したが、希望者が当初予定を大きく上回ったため、受付開始4日目の22日で受付中止となった。北海道地方環境事務所と予算面の調整等により追加内示を受けながら、一般住宅77件（うち太陽光発電設備65件、蓄電池75件、V2H 4件）に対して補助金の間接交付を行った。</p>
------	--

■指標⑥：再生可能エネルギー発電設備及び省エネルギー住宅の導入件数（事業者）（件）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	5	6	6	6	6	6	5	5	5
	累計	5	11	17	23	29	35	40	45	50
実績	単年度	1	18	15						
	累計	1	19	34	34	34	34	34	34	34

実績詳細	<p>事業者による再生可能エネルギー有効活用のため、太陽光発電設備等を導入する事業者へ補助金による支援を行う。対象設備は一般向け事業と同様で、補助上限額3,000万円としている。</p> <p>令和5年6月19日から事業を開始したが、希望者が当初予定を大きく上回ったため、受付開始4日目の22日で受付中止となった。北海道地方環境事務所と予算面の調整等により追加内示を受けながら、民生部門に関わる事業者18件（うち太陽光発電設備18件、蓄電池16件、V2H 2件）に対して補助金の間接交付を行った。</p> <p>※総事業者28件（うち太陽光発電設備28件、蓄電池22件、V2H 3件）</p>
------	--

■指標⑦：ZEH型住宅建設件数（件）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	累計	20	40	60	80	100	120	140	160	180
実績	単年度	0	1	0						
	累計	0	1	1	1	1	1	1	1	1

実績詳細	<p>当初、ZEH型住宅建設補助事業を令和4年度実施から実施する予定であったが、住民がより手厚い支援を受けるための制度設計に時間を要したため、令和5年度からの補助制度開始となった。</p> <p>令和5年度より「上士幌型脱炭素住宅建設助成事業」（戸建）、「定住促進賃貸住宅建設助成事業」（上士幌型脱炭素住宅認定基準に適合する戸建・集合住宅）の募集を開始しており、ZEHと北方型住宅の基準を組みあせた町独自の基準となる。</p>
------	---

■指標⑧：次世代高度技術の社会実装件数（件）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	累計	14	16	18	20	22	24	26	28	30
実績	単年度	3	2	0						
	累計	15	17	17	17	17	17	17	17	17

実績詳細	<p>令和4年度より、ICT活用の旗振り役として、デジタル推進課を新設。自動運転バス定期運行の開始、スマートストア構築、新スマート物流構築など、様々な事業でのデジタル化を進めている。</p> <p>[令和4年度社会実装]</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政手続オンライン化 高齢者福祉デマンド化 自動運転バス定期運行 <p>[令和5年度社会実装]</p> <ul style="list-style-type: none"> かみしほろスマートPASS（シェアオフィス予約連動タクシー予約、バスロケーション）
------	--

■指標⑨：SDGsポイント（地域通貨）制度への参加者数（人）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	0	400	400	300	300	200	200	200
	累計	0	0	400	800	1100	1400	1600	1800	2000
実績	単年度	0	0	1130						
	累計	0	0	1130	1130	1130	1130	1130	1130	1130

実績詳細	<p>住民の再エネ利用や省エネ意識を醸成するため、環境に配慮した行動に応じてSDGsポイント（地域通貨）を付与する仕組みを構築し、取組を見える化することで、自発的な電力及び温室効果ガスの削減につなげる。加えて、住民が楽しみながら行動を変容する環境づくりを進め、徒歩や公共交通機関利用による健康の増進、ポイントを利用した商店街での買い物の促進など、地域経済の活性化にも寄与しながら、住民生活の質の向上を図る。</p> <p>令和6年度の運用開始に向け、令和5年度はシステムのプラットフォーム選定や運用方法、ポイント進呈項目の設定など、SDGsポイントの運用開始に向けて各関係者間での具体的な調整を進めた。複数のプラットフォームの検討比較を行ってきたが、域内経済活性化の観点から、既に町内で普及している地域通貨「かみしほろバルーンスタンプ協同組合」が導入する「バルーンカード」に機能追加する形で決定し、組合やシステム会社とは通算20回以上の協議を重ね、構築に向けて調整した。ポイント進呈項目についても、本町の脱炭素につながる「再エネの地産地消（地域新電力との契約）」や「森林保全活動参加」などのメニューのほか、「町内美化活動への参加」「地域防災マスターの取得」など、SDGs全般の取組に対するポイント進呈としており、メニューについては今後も見直しを随時行っていく。</p> <p>また、令和6年3月2日開催の生涯学習イベント「かみしほろ塾」にて、「小型家電回収」や「カトラリーセット持参」と飲食ブースで利用可能な割引券を配布したり、SDGsポイント制度のPRを行ったりするなど、町民の機運醸成に努めた。</p> <p>令和5年度は運用開始前のため参加者数はゼロであるが、バルーンスタンプ協同組合や町内関係者間の連携を密にして、令和6年4月1日の運用開始後は、SDGsポイントの参加者増加による町民全体の意識醸成・行動変容を目指し、さらなる普及啓発に取り組んでいく。</p>
------	--

■指標⑩：小規模自治体（人口1万人未満）を中心とした「上土幌モデル」の普及・啓発活動への参加者数（人）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	200	100	40	30	30	25	25	25	25
	累計	200	300	340	370	400	425	450	475	500
実績	単年度	231	107	16						
	累計	231	338	354	354	354	354	354	354	354

実績詳細	<p>日本における脱炭素は、単一市町村の取組では到底達成は望めないことから、人口増加に結びついた本町の地方創生における取組を基盤として、いち早く地域の脱炭素化を図り、その成果や課題、解決策を他自治体にも広めていくことで、国内の脱炭素化を積極的に推し進め、全国における脱炭素ドミノ化につなげる。</p> <p>令和5年度の本町の視察・講演等参加の国内自治体は107件で、令和4～5年度の累計は338件となり、単年度・累計ともに目標を達成している。積極的に視察の受入や講演依頼を受諾し、北海道内だけでなく道外へも積極的に普及啓発を進めてきた。また、本町の先進的な取組を広く伝えることにより、様々な事業における関係人口の増加や企業版ふるさと納税による寄付など、ヒト・モノ・カネや情報などを着実に本町に呼び込み、地域雇用・資本の充実につながっている。</p> <p>なお、本町も署名する世界的な気候変動対応への枠組み「世界気候エネルギー首長誓約」においては、4月に韓国・ソウル、10月には本町で国際ワークショップが開催され、アジア地域の自治体を中心に、海外自治体へも本町の取組を広くPRした。また、7月には外務省からの依頼により、ブラジル・サンパウロの「日本祭り」にて本町の資源循環型農業の取組のパネル展示を行った。海外自治体については実績にカウントしていないが、中国・長春市や寧波市、韓国・ソウル特別市や釜山広域市や大邱市、インドネシア・ジャカルタ特別自治州など20自治体を超えている。</p>
------	--

6.事業実施体制の現状

事業	事業者名	調整・協議状況 (設立準備、一般送配電事業者との協議等)	今後の進め方、課題	投資回収年数(年)
PPA事業	該当なし			
再エネ発電事業	該当なし			
小売電気事業 (地域新電力)	該当なし			
送配電事業	該当なし			
都道府県	該当なし			

※必要に応じて行を追加・削除してください。

※投資回収年数については、脱炭素先行地域づくりにおける主要な事業について、事業者ごとに計上してください。

例えば、個別住宅各戸におけるオンサイト太陽光発電導入事業について個別の投資回収年数の提示は不要です。

7.事業継続性（横展開の可能性等の観点を含む）の見込みについて

事業継続性を見込み

公共施設への太陽光設備導入はPPA方式ではなく自己保有としているため、ランニングコストを下げている。また、マイクログリッド事業は、投資回収効果も踏まえて基本設計をし、ランニングの採算もとれ、事業継続できるものと認識している。

また、地域新電力会社(株)karchにおいても、電力卸元の北海道ガス(株)が、住宅等の非FIT太陽光発電における余剰電力の買取を行う事で卸電力市場より安価に再生電力を調達し、需要家へ安価に供給できるため、需要家の確保もでき、事業性が保てるものである。

自治体内外への横展開に向けた方針の検討状況について

本町の取組は、住民にいかにか脱炭素化を普及できるかをモデルとして示すことになり、他の地域の参考になるものと考えている。

また、積極的に視察の受入や講演依頼を受諾し、北海道内だけでなく道外へも積極的に普及啓発を行っている。その様に本町の取組を広く伝えることが、様々な事業における関係人口の増加や企業版ふるさと納税による寄付など、ヒト・モノ・カネや情報などを着実に本町に呼び込み、地域雇用・資本の充実につながっている。

さらに、令和6年10月8～9日に、全国の脱炭素先行地域及び北海道内市町村長を招いた「ゼロカーボン・かみしほろサミット2024」を上士幌町・鹿追町共催し、脱炭素づくり事業の進捗や課題を共有を行うとともに、自治体及び地域全体が一体となって脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいくようサミット宣言を行う予定であり、他地域への脱炭素化の普及を加速させていく。

8.地域の将来ビジョンへの位置づけの状況

本町が2050年ゼロカーボン達成するだけでなく、『「人と自然が調和したまちづくり」を通じた、未来につなぐ 笑顔かがやく 元気まち上士幌』を目指す将来像として、脱炭素化等に向けて様々な取り組みを進めており、2024年3月策定の第2次上士幌町環境基本計画ならびに2023年3月策定の上士幌町地球温暖化実行計画にも位置付けられている。